

在留資格認定証明書交付申請書
APPLICATION FOR CERTIFICATE OF ELIGIBILITY

法務大臣 殿
To the Minister of Justice
出入国移民管理庁(在留資格認定申請書の提出先)
Immigration and Naturalization Service (Address to which the application should be submitted)
提出先(在留資格認定申請書の提出先)
Present to the proscons of Article 7-2 of the Immigration Control and Refugee Recognition Act. I hereby apply for the certificate showing eligibility for the conditions provided for in 7. Paragraph 1, Item 2, of the said Act.

氏名 (姓) NGUYEN VIET NAM (苗字) NGUYEN VIET NAM (名) NGUYEN VIET NAM
出生地 国籍 NGUYEN VIET NAM
性別 性別 Male (男) / Female (女)
出生年月日 1999.10.15
職業 清掃工
住所 8 本国における居住地 ベトナム ハノイ市
配偶者の有無 有 (Married) / 無 (Single)

1 国籍・地域 (Nationality/Region)
2 生年月日 (Date of birth)
3 氏名 (Name)
4 性別 (Sex)
5 出生地 (Place of birth)
6 配偶者の有無 (Marital status)
7 職業 (Occupation)
8 本国における居住地 (Home town/city)
9 提出先 (Address in Japan)
10 電話番号 (Telephone No.)
11 入国目的 (目的) (Purpose of entry)

12 入国予定年月日 (Planned date of entry)
13 上陸予定地 (Port of entry)
14 滞在予定期間 (Planned length of stay)
15 同行者の有無 (Accompanying persons, if any)

16 査証申請予定地 (Planned place of application)
17 過去の入国履歴 (Past entry/exit/dispatch record)
18 過去の在留資格認定証明書交付申請履歴 (Past history of applying for a certificate of eligibility)

19 犯罪理由となる処分を受けたこと(有無)
20 過去の在留資格認定証明書交付申請履歴 (重複)
21 在日親族(母、配偶者、子、兄弟姉妹、祖父母、叔父(叔母)の母など)及び同居者
22 在日親族(母、配偶者、子、兄弟姉妹、祖父母、叔父(叔母)の母など)及び同居者
23 在日親族(母、配偶者、子、兄弟姉妹、祖父母、叔父(叔母)の母など)及び同居者

24 過去の在留資格認定証明書交付申請履歴 (重複)
25 過去の在留資格認定証明書交付申請履歴 (重複)
26 過去の在留資格認定証明書交付申請履歴 (重複)
27 過去の在留資格認定証明書交付申請履歴 (重複)
28 過去の在留資格認定証明書交付申請履歴 (重複)

29 過去の在留資格認定証明書交付申請履歴 (重複)
30 過去の在留資格認定証明書交付申請履歴 (重複)
31 過去の在留資格認定証明書交付申請履歴 (重複)
32 過去の在留資格認定証明書交付申請履歴 (重複)
33 過去の在留資格認定証明書交付申請履歴 (重複)

34 過去の在留資格認定証明書交付申請履歴 (重複)
35 過去の在留資格認定証明書交付申請履歴 (重複)
36 過去の在留資格認定証明書交付申請履歴 (重複)
37 過去の在留資格認定証明書交付申請履歴 (重複)
38 過去の在留資格認定証明書交付申請履歴 (重複)

注: 申請書に記入する事項は、申請書の提出時、最新のものとします。
Note: Please fill in the items required for application. (See notes on reverse side.)
注: 申請書に記入する事項は、申請書の提出時、最新のものとします。
Note: Please fill in the items required for application. (See notes on reverse side.)

全般的な注意事項

- 本申請書は、入管法施行規則の別記様式として規定されているものである。
- 申請人等作成用 1、2、3及び所属機関等作成用 1、2、3、4の計7枚からなり、申請人毎に作成する。
- 記載すべき欄は空欄にせず、必ず記載する。
- 支援計画書、雇用条件書等の内容と齟齬がないように注意する。

該当番号	記載上の注意事項
<1>	申請前3か月以内に正面から撮影された無帽、無背景、かつ、鮮明な写真を貼付する。 写真の詳細については「各種申請書に貼付する写真の規格」(P.6~P.8)を参照する。
1	申請人の国籍・地域を記載する。 「台湾」「香港」は「中国(香港)」と記載する。
2	身分証明書、旅券等の記載に基づき、正確に記載する。
3	旅券に記載されているローマ字氏名をそのままの順番で記載する。旅券が未発給の場合は、旅券発給申請で用いるものを記載する。 漢字氏名がある場合、漢字を記載しても構わない(任意)が、その場合は、ローマ字の後に記載する。 中国人で漢字を記載する場合、簡体字で記載する。 申請人の性別については、該当するものに○を付ける。 国(地域)及び都市名を記載する(番地等は記載不要)。 申請人の配偶者の有無について、該当するものに○を付ける。 申請時点の職業を具体的に記載する(溶接工、大工等)。 国(地域)及び都市名を記載する(番地等は記載不要)。 本申請に関する日本における連絡先を記載する。 (例)所属機関の連絡先を記載する。 旅券の番号及び有効期限を正確に記載する。 申請時点で未発給の場合は、「番号」欄に「未発給」と記載する。 申請時点で未発給の場合は、「番号」欄をマークする。 特定技能1号の場合、V「特定技能(1号)」欄をマークする。 特定技能2号の場合、V「特定技能(2号)」欄をマークする。 日本への入国を予定する日付を記載する。 日本に上陸する際の予定空港又は海港を記載する。 日本に上陸する予定の期間を記載する。 特定技能1号の家族同伴は認められていないので、原則として「無」に○を付ける。 申請人が査証(VISA)申請を予定する在外公館(日本大使館又は日本総領事館)の所在都市名を記載する。 過去の来回回数と直近の出入国履歴を記載する。 過去の在留資格認定証明書交付回数と不交付回数を記載する。 申請人が犯罪(日本国外におけるものを含む。)を理由とする処分を受けたことがある場合は「有」に○を付ける。罪名及び処分内容を具体的に記載する。なお、交通違反等による処分を含む。 ない場合は「無」に○を付ける。 申請人が過去強制又は出国命令を受けたことがある場合は「有」に○を付ける上で、その回数及び直近の送還歴(出国日)を具体的に記載する。 ない場合は「無」に○を付ける。 申請人の親族(配偶者、兄弟等)が日本に居住している場合は、その者について記載する。 該当者がいない場合は、「無」に○をつける。
10	旅券の番号及び有効期限を正確に記載する。
11	申請時点で未発給の場合は、「番号」欄に「未発給」と記載する。
12	申請時点で未発給の場合は、「番号」欄をマークする。
13	特定技能1号の場合、V「特定技能(1号)」欄をマークする。
14	特定技能2号の場合、V「特定技能(2号)」欄をマークする。
15	日本への入国を予定する日付を記載する。
16	日本に上陸する際の予定空港又は海港を記載する。
17	日本に上陸する予定の期間を記載する。
18	特定技能1号の家族同伴は認められていないので、原則として「無」に○を付ける。
19	申請人が犯罪(日本国外におけるものを含む。)を理由とする処分を受けたことがある場合は「有」に○を付ける。罪名及び処分内容を具体的に記載する。なお、交通違反等による処分を含む。 ない場合は「無」に○を付ける。
20	申請人が過去強制又は出国命令を受けたことがある場合は「有」に○を付ける上で、その回数及び直近の送還歴(出国日)を具体的に記載する。 ない場合は「無」に○を付ける。
21	申請人の親族(配偶者、兄弟等)が日本に居住している場合は、その者について記載する。 該当者がいない場合は、「無」に○をつける。